



### 化学物質管理方針

Nittoグループは化学物質の危険・有害性(ハザード)管理に加え、1990年代より人体や環境に影響を及ぼす物質の使用を自主的に規制してきました。2007年度以降は、グローバル管理を見据えた専門部署を設置し、さらにグループ丸となって取り組むために、2014年4月1日、Nittoグループ化学物質管理方針を制定しました。

#### Nittoグループ化学物質管理方針

化学物質の持つリスクを十分に理解し、災害や事故を未然に防ぐことはもとより、健康的な職場環境を維持し、生態系および環境の保全に尽くします。

### 2020年に向けて

「2020年までに化学物質の製造と使用による人の健康と環境への悪影響の最小化を目指す」という国際的な動きの中で、私たちは社会の一員として、3つの視点で化学物質の管理を行っています。

#### お客様へ安心を提供

##### ● グローバルな法規制管理体制の構築

グローバル化が進むにつれ、お客様やパートナー様の活動

エリアも広がってきています。各国・地域の法規制情報をいち早く入手して対応するために、エリア毎に管理体制を強化し、グローバル管理チームと連携を図ることを目指します。

##### ● 正確・丁寧・迅速な情報提供

化学物質に対する社会からの関心の高まりを受け、製品に含まれる化学物質の情報をお客様に提供する機会が増えています。お客様が必要な情報を正確かつ迅速に提供するために、今後も原材料の供給元であるパートナー様と協力して情報の把握を行ってまいります。

#### 働く人すべてに対し、安心を提供

化学物質の取扱いによる事故やけがを減らすために、ケミカルリスクアセスメントの考え方を、2015年度までにグループ全体に定着させます。特に危険性の高い化学物質は、使用量の削減や作業内容の見直しなどを行い、すべての従業員が安心して働けるよう取り組みます。

#### 環境に及ぼす影響の極小化

Nittoグループでは、粘着剤の製造などに有機溶剤を使用してきましたが、環境へ配慮して、有機溶剤を用いない粘着剤の研究・開発を進めています。これまでにない新たな機能を持った製品を実現することで、サプライチェーン全体での化学物質の製造と使用による環境への負荷を低減します。

#### ■ 化学物質管理に関するトピックスとNittoグループの動き

